

提出日：2022 年 6 月 30 日

提出者：研究所長・芳村 弘道

2021 年度 研究所事業報告書

研究所名	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所
------	---------------------

I. 研究成果の概要 (公開項目) ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2020 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。なお、2020 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

当研究所は、発足以来、学術研究事業と教育文化事業の二部門の活動を行っているので、各部門別に成果を報告する。

1) 学術研究事業

- ①2021 年 6 月 22 日、第 14 回白川記念東洋文字文化賞の表彰式を仲谷善雄学長臨席のもと、衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルームにて開催した。優秀賞には古辞書研究の大槻信氏(京都大学大学院文学研究科教授)、教育普及賞には写真植字研究の阿部卓也氏(愛知淑徳大学創造表現学部准教授)、奨励賞に日本近世の儒教儀礼研究の松川雅信氏(日本学術振興会特別研究員)を選出した。
- ②『漢字学研究第』第 9 号(2021 年 10 月)、『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』第 15 号(2022 年 3 月)を刊行して研究成果を発信した。
- ③2021 年 10 月 31～11 月 7 日に「世界漢字学会第八屆年会」(韓国延世大学、オンライン)を開催、12 月 4 日、5 日に日本漢字学会第 3 回大会を立命館大学茨木キャンパスで開催した。また 2022 年 3 月 19 日に「シンポジウム漢字文化の展望」をオンラインで開催した。2022 年 3 月 19 日には、京都大学人文科学研究所元所長の金文京氏の講演とともに、シンポジウム「東アジア漢字文化の過去・現代・未来」を手話通訳付きでオンライン開催した。
- ④2022 年 3 月「立命館土曜講座」(オンライン開催)を担当し、「和漢の書香」というテーマを設定して川崎佐知子が「西園寺文庫の『御会集』」(5 日)、芳村弘道が「立命館大学所蔵の漢籍貴重本」(12 日)の講演を行った。また平井嘉一郎記念図書館において、「西園寺文庫」所蔵の書籍・資料を主とする和漢の貴重本の展示を本学図書館と共同開催し、本学に和書・漢籍の貴重本が質・量共にすぐれて所蔵されていることを一般の方々を紹介した。
- ⑤カザフスタン教育科学省中央科学図書館(珍本書庫)所蔵資料の調査については、メールの交換やリモートによる現地研究者との協議を維持し、7 月 28 日に同図書館の上級機関である中央科学アカデミーの総裁らと交えた TV 会議を実施してコロナ禍沈静化後の現地調査に備えた。
- ⑥高島敏夫客員研究員による連続公開講座を開催した。今回は「殷周革命の実態に迫る」と題し全 5 回にわたって催され、毎回、一般社会人の参加もあった。

2) 教育文化事業

- ①体験型漢字講座「漢字探検隊」は、疫病の流行状況を見ながら対面とオンラインによる講座を 5 回開催。延べ 800 人の参加者を得た。外部からの招聘講座も、姫路市立生涯学習大学校・京都高齢者大学校・大阪 YMCA が計 55 回、単発招聘講演は東京ほぼ日の学校・兵庫倶楽部・司延子モダンバレエから招かれた。講師収入は、216 万円。
- ②漢字教育士資格認定講座事業は、(公財)日本漢字能力検定協会との連携による「漢検漢字教育サポーター育成講座事業」が 10 年目(最終年)を迎え、いわゆる「駆け込み需要」もあり、収入は 760 万円を計上した。またコロナ禍での学生・院生の学修支援を行うべく、学園予算を得て無料受講制度を 2020-21 年度に実施。全学から 208 名の受講希望があり、そのうち 39 名が修了、漢字教育士の有資格者も 25 名に達した。
- ③書籍出版・販売事業は、漢字教育士テキストおよび『成り立ちとつながりで学ぶ漢字ワーク』で 106 万円の売上。
- ④産経新聞との共催事業「第 12 回創作漢字コンテスト」は、応募数 1.8 万。
- ⑤福井県教育委員会とは、県主催の「白川文字学講座」「白川静漢字教育賞」への講師・審査員派遣を行う。
- ⑥「漢字教育士サイト」「漢字探検隊」サイトの運用を開始。月 1 回程度の更新を行い、情報提供を行う。
- ⑦衣笠キャンパスの門の 8 か所に名称に使用される漢字の由来等を記した銘板を設置した。

II. 拠点構成員の一覧 (公開項目) ※ページ数の制限は無し

本欄には、2022年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
研究所長・センター長	芳村 弘道	文学部	特任教授	
運営委員	大形 徹	衣笠総合研究機構	教授	
	萩原 正樹	文学部	教授	
	加地 伸行	衣笠総合研究機構	顧問	
	杉橋 隆夫	衣笠総合研究機構	顧問	
	上野 隆三	文学部	教授	
	小椋 秀樹	文学部	教授	
	松本 保宣	文学部	教授	
	石井 真美子	文学部	教授	
	川崎 佐知子	文学部	教授	
	中本 大	文学部	教授	
	前田 亮	情報理工学部	教授	
	湊 宣明	テクノロジー・マネジメント研究科	教授	
	後藤 文男	教職研究科	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	岡崎 友子	文学部	教授	
	金津 日出美	文学部	准教授	
	大田 壮一郎	文学部	教授	
学内の若手研究者	① 専門研究員 研究員 初任研究員	靳 春雨	立命館アジア・日本研究機構 研究員	
	② リサーチアシスタント			
	③ 大学院生	宮本 紗代	文学研究科	博士課程後期課程
		許 曉璐	文学研究科	博士課程後期課程
		黄 錚	文学研究科	博士課程後期課程
		石川 大我	文学研究科	博士課程前期課程
		田中 京	文学研究科	博士課程後期課程
		猪俣 貴幸	文学研究科	博士課程後期課程
		松本 理美	文学研究科	博士課程後期課程
		中西 健太	文学研究科	研修生
	④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)	池嶋 美帆	文学研究科	研修生
		草野 友子	立命館大学	日本学術振興会特別研究員(RPD)
	その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究生、研修生等)	藤田 優子	文学研究科	日本学術振興会特別研究員(PD)
山田 崇仁		文学部	非常勤講師	
	高島 敏夫	文学部	非常勤講師	

	落合 淳思	文学部	非常勤講師
	秋山 陽一郎	文学部	非常勤講師 大阪府立大学客員 研究員
	佐藤 信弥	文学部	非常勤講師大阪府 立大学客員研究員
	今場 正美	文学部	非常勤講師
	佐古 愛己	文学部	非常勤講師(ARC 客員 研究員) 佛教大学准教授
	花田 卓司	文学部	非常勤講師 帝塚山大学専任講師
客員協力研究員	阪谷 昭弘	花園中学高等学校	教諭
	笠川 直樹	京都精華学園	理事
	庄 捷淳	中国惠州学院	講師
	臧 克和	華東師範大学	終身教授
	村上 幸造	大阪工業大学	客員教授
	高田 宗平	中央大学	兼任講師
	張 莉 (出野文莉)	大阪教育大学	准教授
	重信 あゆみ	大阪府立大学	客員研究員
	高橋 あやの	関西大学東西学術研究所	非常勤研究員
	洲脇 武志	愛知県立大学	准教授
	末次 信行	千里金蘭大学	元教授
	白須 裕之	京都大学人文科学研究所	助教
	花田 卓司	帝塚山大学	准教授
	大野 裕司	大連外国語大学日本語学院	教師
	松宮 貴之	佛教大学	非常勤講師
	名和 敏光	山梨県立大学	准教授
	上島 理恵子	なし	
	安永 知晃	関西学院大学	非常勤講師
	松川 雅信	関西大学	日本学術振興会特別研究 員 (PD)
	張 宇衛	台灣大學中国文学系	助理教授
	余 筠珺	台湾大学中国文学系	助理教授
	井ノ口 哲也	東京学芸大学	教授
	梁 曉虹	南山大学	教授
	山田 明広	奈良学園大学	准教授
	多田 伊織	大阪府立大学	客員研究員
	楊 冰	大阪府立大学	非常勤講師
	三輪 健介	有限会社啓鉄工業所	

	詹 千慧	国立彰化師範大学	助理教授
	魯 耀翰	高麗大学	研究教授
	久保 輝幸	東洋大学	非常勤講師
	西山 尚志	埼玉大学	准教授
	李 強	大阪物療大学	教授
	黃 庭碩	政治大學中國文學系	助理教授
	松尾 肇子	白川研	客員研究員
	董 涛	合同会社与進舎	塾講師
	山本 優紀子	なし	
	李 現	なし	
	小倉 聖	大東文化大学	非常勤講師
	熊野 弘子	森ノ宮医療大学	准教授
	山本 堯	公益財団法人泉屋博古館	学芸員
その他の学外者	村田 右富実	関西大学	教授
	笹原 宏之	早稲田大学	教授
	住吉 朋彦	慶應義塾大学	教授
	富 嘉吟	お茶の水女子大学	助教
	沈 慶昊	高麗大学校	教授
	金 程宇	南京大学	教授
	黄 鶯	福州大学外国語学院	講師
研究所・センター構成員 計 84 名 (うち学内の若手研究者 計 12 名)			

III. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「II. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2022年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	大形徹	『東アジアにおける異文化理解と受容の諸相』 エジプトと中央アジアのミイラの復活 観念が中国の仙人を生み出したの では?—パルメット、鹿角文様と羽人 と龍—を執筆	共著	2022年3月	宇佐美一博編 愛知大学人文社 会学研究所 研究報告論文集	久住 祐一郎・小林 武・静慈圓	PP. 31 ~ 80
2	草野友子	中国新出土文献の思想史的研究— —故事・教訓書を中心として—	単著	2022年1月	汲古書院		全514頁
3	草野友子	よくわかる中国思想	共著	2022年2月	ミネルヴァ書房	湯浅邦弘編著(共 著者他、16名)	PP.82 ~ 91
4	落合淳思	漢字の音	単著	2022年1月	東方書店		全246頁
5	落合淳思	漢字字形史字典【教育漢字対応版】	単著	2022年3月	東方書店		全1216頁

6	佐藤信弥	戦乱中国の英雄たち：三国志、 『キングダム』、宮廷美女の中国時 代劇	単著	2021年5月	中央公論新社		全221頁
7	佐藤信弥	怪異学講義：王権・信仰・いとなみ	共著	2021年10月	勉誠出版		
8	佐藤信弥	論点・東洋史学：アジア・アフリカ への問い、158	共著	2022年1月	ミネルヴァ書房	石川、博樹、太田、 淳、太田、信宏、 小笠原、弘幸、宮 宅、潔、四日市、 康博、吉沢、誠一 郎	
9	臧克和	汉字结构认知大字典	合著	2021年12月	广州：广东人民出版社	刘本才	主编4册
10	臧克和	读字录	単著	2020年12月			
11	笹原宏之	漢字ハカセ、研究者になる	単著	2022年3月	岩波書店		
12	笹原宏之	漢字系文字の世界：字体 と造字法 = A study of sinoform scripts：principles of glyph creation	共著	2022年3月	日本漢字学会、花鳥社	吉川、雅之、荒川、 慎太郎、清水、政 明、蘇、柳朱、矢 田、勉、山下、真 里	
13	黄庭碩	周公哪有這麼神：課本沒教的兩周 史教室	共著	2021年6月	遠足文化出版	謝博霖	
14	井ノ口哲也	『道德教育と中国思想』	単著	2022年1月	勁草書房		
15	山田明広	怪異学講義—王権・信仰・いとなみ —	共著	2021年9月	勉誠出版	編者：東アジア怪異 学会 共著者：大江篤・榎 村寛之・化野燐等 (20名)	PP. 242～ 269
16	山田明広	台湾で日本人を祀る—鬼(クイ)から 神(シン)への現代人類学—	共著	2022年3月	慶應義塾大学出版会	編者：三尾裕子 共著者：三尾裕子・ 藤野陽平・五十嵐 真子等(9名)	PP. 171～ 212
17	川崎 佐知子	応円満院殿御詠歌 近衛基熙の家 集	単著	2022年2月	古典ライブラリー		総頁数 700頁
18	住吉朋彦	慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶 應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究	主編	2021年	勉誠出版		総頁数 480頁
19	住吉朋彦	書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる 本の文化史	共著	2021年	勉誠出版	藤本幸夫	総頁数 877頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共 著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・ 著者名	担当頁数	査読 有無
1	大形徹	字説「疫」について	単著	2021年10月	『漢字学研究』第9号、字説、立命 館大学白川静記念東洋文字文化 研究所		pp.93 ~ 111	有
2	山田崇仁	呉王餘昧劍	単著	2021年10月	立命館大学白川静記念東洋文字文 化研究所『漢字学研究』9		pp.61～81	有
3	Yamada Takahito	The History of the IT Environment of Sinology in Japan	単著	2022年1月	WACCCS, “The International Journal of Chinese Character Studies”, 4-2		pp.111 ~ 130	無
4	高島敏夫	金文に見る古代語の表現 (二)「限定符」を付加した文字 表現	単著	2022年3月	立命館大学白川研究所「紀要」第 10号		pp.1～10	無
5	佐藤信弥	[女受]鼎銘より見る女性に よる家産管理——西周ジェ	単著	2021年11月	日本秦漢史研究		pp.1～30	

		ンダー論への展望						
6	佐藤信弥	白川静「[サイ]」字説の文字学的論拠と考古学的証明について	単著	2021年6月	日本漢字學會報		pp.113 ~ 122	
7	佐藤信弥	新出金文と金文研究	単著	2021年6月	學會通信 漢字之窓 3巻1号		pp.44~45	
8	臧克和	介質、書体、文体 —魏晋南北朝文字发展因素及意义;	単著	2021年6月	SAGE, Journal of Chinese Writing Systems, 2021, 第二期		pp.88~99	
9	臧克和	注解的“标注”——《史记》历代注本文字标注及相关问题	単著	2021年10月	华东师范大学学报, 2021, 第三期		pp.114 ~ 128	
10	笠川直樹	金文通解 袁成叔鼎	単著	2021年10月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所, 漢字学研究, 9号		pp.1~14	有
11	村上幸造	柞伯鼎	単著	2021年10月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所, 漢字学研究, 第九號		pp.27~42	有
12	名和敏光	虎溪山漢簡“X日而憂置城Y歳”考釋	単著	2021年5月	復旦大学出土文献与古文字研究中心 HP		pp.1~12	有
13	名和敏光	虎溪山漢簡《閭昭》(下)綴合	単著	2021年6月	復旦大学出土文献与古文字研究中心 HP		pp.1~8	有
14	名和敏光	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲編《祭(三)》《宜忌》《諸日》《祭(二)》綴合校釈	単著	2021年10月	石川忠久先生星寿記念論文集刊行會編『菊を採る東籬の下 石川忠久先生星寿記念論文集』汲古書院		pp. 383~402	無
15	村田右富実	『万葉集』における「難波」と「住吉」	単著	2021年12月	文学・語学 (233)		pp.55~64	
16	村田右富実	音列に基づいた潜在的ディリクレ配分法による万葉短歌分類についての試論	単著	2021年10月	万葉研究誌 (103)	川野 秀一, 吉川 剛平 美夫 君志		
17	高田宗平	国立歴史民俗博物館所蔵高松宮家伝来禁裏本『元秘抄』略解題	単著	2022年3月	国立歴史民俗博物館、国立歴史民俗博物館研究報告([共同研究]廣橋家旧蔵文書を中心とする年号勘文資料の整理と研究)、第233集	掲載誌の編者: 水上雅晴 (共同研究の研究代表者)	pp.91 ~ 103	有
18	魯耀翰	龍飛御天歌의 典據와 註解에 대한 文獻學的 研究	単著	2021年3月	韓國語文教育研究會, 語文研究, 49巻1号		pp.111 ~ 145	有
19	魯耀翰	세조-성종연간 서거정의 저술과 편찬활동	単著	2021年6月	震檀學會, 震旦學報, 136号		pp.221 ~ 259	有
20	魯耀翰	안평대군의 匪懈堂選半山精華 편찬과 주해방법	単著	2021年6月	權域漢文學會, 漢文學論集, 59号		pp.63 ~ 102	有
21	魯耀翰	1908년 金允植의 일본 방문과 芝城山館 시문창화의 의미 —東槎變今과 芝城山館納涼唱和集을 중심으로—	単著	2021年9月	東洋古典學會, 東洋古典研究, 84号		pp.65 ~ 104	有
22	魯耀翰	조선초 서적간행의 토대 구축과 종이의 공급	単著	2021年10月	權域漢文學會, 漢文學論集, 60号		pp.7~41	有
23	魯耀翰	조선전기 元好問 遺山樂府의 수용에 대하여: 金時習의 예를 중심으로	単著	2021年12月	우리 漢文學會, 漢文學報, 45号		pp.43~78	有
24	魯耀翰	유득공 渤海考의 사료인용 양상과 역사서술 방법	単著	2021年3月	韓國實學學會, 韓國實學研究, 42号		pp.147 ~ 185	有
25	上島理恵子	『賀茂社』二題 一、『賀茂旧記』の史的価値と分析の試み 二、『賀茂旧記』全編数値化の試みと解釈	共著	2022年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要, 第15号	杉橋 隆夫	pp.72 下 ~77	無
26	花田卓司	足利直冬	単著	2021年6月	亀田俊和・杉山一弥編『南北朝武将列伝 北朝編』、戎光祥出版	亀田俊和・杉山一弥	pp.206 ~ 217	無

27	花田卓司	赤松円心・則祐	単著	2021年6月	亀田俊和・杉山一弥編『南北朝武将列伝 北朝編』、戎光祥出版	亀田俊和・杉山一弥	pp.353～363	無
28	花田卓司	武田信武	単著	2021年6月	亀田俊和・杉山一弥編『南北朝武将列伝 北朝編』、戎光祥出版	亀田俊和・杉山一弥	pp.374～383	無
29	花田卓司	鎌倉後期・建武政権期の戦功認定—二重証判を中心に—	単著	2021年10月	鎌倉遺文研究会、『鎌倉遺文研究』48号		pp.29～53	有
30	花田卓司	赤松円心の建武政権離反	単著	2022年3月	立命館大学人文学会、『立命館文學』、677号		pp.177～183	無
31	黄庭碩	曾公田求編鐘銘文考釋及格式問題研究	単著	2021年6月	國文學報, No.69	無	pp.29-56.	有
32	黄庭碩	漢字裡的東洋—日本漢學家白川靜甲骨研究述論	単著	2021年9月	東亞漢學研究, Vol.第11號	無	pp.341-351	有
33	井ノ口哲也	班固「兩都賦」と張衡「二京賦」—後漢知識人の洛陽(雒邑)觀 初探—	単著	2021年10月	汲古書院、『東アジアの王権と秩序—思想・宗教・儀礼を中心として』	伊東貴之(編)	PP. 193～206	依頼論文
34	井ノ口哲也	徳治の構造	単著	2022年3月	中央大学文学部、『紀要 哲学』第64号		pp.1～9	無
35	三輪健介	金文通解 季姫方尊	単著	2021年10月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所『漢字学研究』第9号		pp.43～59	有
36	Liang Xiaohong	“An Exploratory Survey of the Graphic Variants Used in Japan: Part Two,”	単著	2021年6月	JOURNAL OF CHINESE WRITING SYSTEMS (JCWS), Vol. 5,		pp.115～124	有
37	梁曉虹	「無窮会本『大般若経音義』第四十帙鳥名考」	単著	2021年11月	中華書局、『域外漢籍研究集刊』、第二十一輯		pp.17～38	有
38	梁曉虹	「天理本篇立音義考論」	単著	2021年12月	中華書局、『文献語言学』、第十三輯		pp.149～162	
39	梁曉虹	「“無窮会本系”『大般若経音義』‘詹’聲俗字考」	単著	2021年12月	四川大学出版社、『漢語史研究集刊』、第三十一輯		pp.259～266	有
40	白須裕之	『文史通義』内篇四譯注	共著	2021年12月	京都大学人文科学研究所, 東方學報, 96	「清代～近代における經學の斷絶と連續」研究班; 竹元, 規人; 古勝, 隆一; その他	pp.143～149	有
41	山田明広	台湾北部淡水地区の烏頭道士の功德儀礼	単著	2021年4月	関西大学東西学術研究所, 東西学術研究所紀要, 第54輯	無し	pp.141～158	有
42	上野隆三	映画『妖猫伝』の中国における評価 —公開後の中国の新聞記事を中心に—	単著	2022年3月	立命館大学人文学会, 立命館文學, 第678号		pp.913～926	無
43	杉橋隆夫	『賀茂旧記』二題一、『賀茂旧記』の史料的价值と分析の試み	単著	2022年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要, 第15号		pp.65-77	有
44	杉橋隆夫	後白河法皇と源頼朝	単著	2021年9月	妙法院門跡、蓮華、100号		pp.38-42	無
45	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡[貳]』訳注(十一)	共著	2021年6月	中国芸文研究会, 学林, 72号	村田進、山内貴	pp.135-171	有
46	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡[貳]』訳注(十二)	共著	2021年12月	中国芸文研究会, 学林, 73号	村田進、山内貴	pp.173-218	有
47	川崎佐知子	立命館大学図書館蔵『詠百首和歌』について	単著	2021年5月	立命館大学日本文学会, 論究日本文学, 114号		pp.1～11	招待有
48	川崎佐知子	翻刻『別本 御書物方年譜覚書』(其の二)	共著	2022年3月	白川静記念東洋文字文化研究所、白川静記念東洋文字文化研究所紀要、15号	芳村弘道、中本大	pp.79～94	無
49	川崎佐知子	大徳寺芳春院と近衛家	単著	2022年3月	白川静記念東洋文字文化研究所、白川静記念東洋文字文化研究所紀要、15号		pp.35～49	無
50	芳村弘道	朝鮮渡り唐本の研究につい	単著	2022年3月	白川静記念東洋文字文化研究所紀要 第15号		pp.11～33	無

		て						
51	芳村弘道	翻刻『別本 御書物方年譜 覚書』(其の二)	共著	2022年3月	白川静記念東洋文字文化研究所紀 要 第15号	川崎佐知子・ 中本大	PP. 79～ 94	無
52	萩原正樹	志村五城と竹内東仙の詞— 神田博士『日本における中 国文学』補遺	単著	2021年6月	学林, 第72号		pp.103～ 117	有
53	萩原正樹	和刻本『事林広記』に見える 宋词について—『全宋词』 未収「迎仙客」詞六首—	単著	2021年12月	日本宋代文学学会報, 第8集		pp.131～ 160	有
54	萩原正樹	(翻訳)董康と袁克文との交 悪の顛末	単著	2021年12月	風絮, 第18号	楊月英氏論文 の翻訳	pp.31～55	有
55	萩原正樹	森槐南の詞学—『作詩法講 話』に見える詞の起源説	単著	2022年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研 究所紀要, 第15号		pp.51～63	有
56	靳春雨	宋代詞学の史資料研究と日 中韓・漢字文化圏の交流	単著	2021年7月	立命館アジア・日本研究学術年報 第2号		pp.35～40	有
57	住吉朋彦	『元治増補御書籍目録』翻 印と解題(上)	単著	2022年	斯道文庫論集第56輯		pp. 133～ 349	無
58	富嘉吟	重論『古逸叢書』本『玉燭寶 典』之底本	単著	2022年	敦煌写本研究年報第16号		pp. 113～ 126	無
59	富嘉吟	松崎謙堂が見た宋元刊本 について	単著	2022年	人文科学研究第18巻		pp. 1～14	無
60	Akira Maeda	Learning Japanese- English Bilingual Word Embeddings by Using Language Specificity	共著	2021年5月	World Scientific, International Journal of Asian Language Processing, 30巻3号	Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal	14 pages	有
61	Akira Maeda	Dataset Augmentation for Grammatical Error Correction Using Markov Chain	共著	2021年7月	Proceedings of the World Congress on Engineering (WCE2021)	Ryoga Nagai	PP. 97- 100	有
62	Akira Maeda	A Prototypical Network- Based Approach for Low- Resource Font Typeface Feature Extraction and Utilization	共著	2021年12 月	MDPI, Data, 6巻12号	Kangying Li, Biligsaikhan Batjargal	20 pages	有
63	Akira Maeda	Joint Extraction of Clinical Entities and Relations Using Multi- head Selection Method	共著	2021年12 月	Proceedings of the 2021 International Conference on Asian Language Processing (IALP 2021)	Xintao Fang, Yuting Song	PP. 99- 104	有
64	Akira Maeda	Sentence Pair Augmentation Approach for Grammatical Error Correction	共著	2022年3月	Proceedings of the 1st International Conference on Computational Intelligence for Engineering and Management Applications (CIEMA 2022)	Ryoga Nagai	9 pages	有

(3). 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
-----	----	------	------	------------	---------

1	大形徹	『論語』の論と語	2021年11月	韓国 世界漢字学会 延世大学 孔令竹と共同発表オンライン研究発表	孔令竹
2	大形徹	泰山と洞天福地 オンライン・対面	2021年12月18日	洞天福地研究会 専修大学 神田校舎	
3	山田崇仁	日本中国学におけるIT利用環境の歴史について	2021年10月	第8届世界漢字学会大会 於: 延世大学人文学研究院(大韓民国/ オンラインでの発表)	
4	高島敏夫	金文に見る古代語の表現——「舍」概念、「象形」の本質	2021年11月13日、 12月11日	初期漢字研究会 第68回・69 回	
5	佐藤信弥	西周金文は出来事をどう記録したか、——同一の出来事について記録した金文より探る	2021年8月28日	立命館東洋史学会	
6	佐藤信弥	[女受]鼎銘文與西周時期社會性別初探	2021年10月31日	世界漢字學會第八屆年會“人工 智能及漢字 研究領域的擴展	
7	臧克和	汉字“通假”类型标注问题	2021年11月	世界汉字学会 第8回大会, 首尔 延世大学	
8	笠川直樹	新出金文発表「嬭加編鐘」	2021年4月	漢字学研究会 キャンパスプラ ザ京都	
9	末次信行	青銅器・鳥獸合體尊	2022年1月	漢字學研究会、立命館大学	
10	村上幸造	柞伯鼎	2021年7月	第93回漢字学研究会	
11	村上幸造	柞伯鼎(補足修正)	2021年10月	第95回漢字学研究会	
12	名和敏光	虎溪山漢簡《閭昭》初探	2021年7月10日	中国出土資料学会 2021年度第 1回大会	
13	名和敏光	虎溪山漢簡《閭昭》について	2021年11月27日	虎溪山出土文献研究会	
14	西山尚志	第一次世界大戦後の「漢学復興」論の行方	2022年1月21日	第一回葛藤解決と哲学的疎通学 国際コロキウム、慶北大学校(韓 国)	
15	西山尚志	近代日本の「漢学復興」をめぐる葛藤	2022年1月20日	第一回葛藤解決と哲学的疎通学 国際コロキウム、慶北大学校(韓 国)	
16	西山尚志	被創造的在“三監之亂”中的周公	2021年12月12日	‘博物’伝統与人類‘新軸心時 代’国際學術研討会、鄭州大学 文選与華夏文明研究院(中国河 南省鄭州)	
17	西山尚志	平沼騏一郎の漢学復興運動	2021年10月23日	大東文化大学中国文学科秋季 講演会(日本)	
18	魯耀翰	서거정의 저술과 편찬 활동	2021年1月	韓國古典文學會, 四佳 徐居正 선생 탄신 600주년 기념 학술대회	
19	魯耀翰	朝鮮前期 元好問 遺山樂府의 受容에 대하여: 金時習의 예를 중심으로	2021年8月	우리 漢文學會, 2021年 우리 漢文學會 夏季學術大會	
20	魯耀翰	雲養 金允植과 日本人 官僚·文人學者의 詩文唱和에 대하여	2021年8月	東洋古典學會, 2021年 東洋古典學會 夏季學術大會	
21	魯耀翰	조선초 서적간행의 체계 구축과 종이의 공급	2021年9月	檣域漢文學會, 2021年 檣域漢文學會 夏季學術大會	
22	魯耀翰	柳得恭 渤海考 文獻研究	2021年12月	韓國實學學會, 2021年 韓國實學學會 秋季學術大會	
23	魯耀翰	조선 전기 須溪本 시문집의 간행과 그 의의	2021年12月	民族文學史研究所, 2021年 12月 Colloquium	
24	黃庭碩	嬭加編鐘銘文寫作格式及書寫特徵研究	2021年5月	第32届中國文字學國際學術研 討會	单著

25	梁曉虹	「日本俗語字考—以“無窮会本系”『大般若經音義』中“弘”字為例」	2021年10月	第三回跨文化漢字研討會: 東アジア写本漢字及び文献研究会(オンライン)	
26	梁曉虹	「無窮会本『大般若經音義』第四十帙鳥名考—兼論其音義特色」	2021年10月	第十二回中古漢語國際學術研討會(オンライン)	
27	梁曉虹	「日本天理本“篇立音義”考論」	2021年10月	第一回漢語音義學研究國際學術研討會及び第四回仏經音義研究國際學術研討會(オンライン)	
28	梁曉虹	「佛經音義“日本化”發展進程考察—以“無窮会本系”『大般若經音義』為例」	2021年12月	佛教傳播與語言變化, 第十四回漢文佛典語言學國際學術研討會(オンライン)	
29	川崎佐知子	涉成園の偶仙樓をめぐるって	2021年6月	中古文学会関西西部会第五十八回例会、ZOOMによるオンライン開催、開催協力校 京都女子大学(京都市東山区)	
30	川崎佐知子	Murata Harumi's Research on The Tale of Sagoromo /LitPre (Pre-modern Literature) 05 The Tale of Sagoromo: Influence, Exegesis, and Illustration in the Reception of "Other" Tale of Genji	2021年8月	EAS2021: 16th International Conference of the European Associations for Japanese Studies 第十六回欧州日本学会国際会議、ZOOMによるオンライン開催、開催国ドイツ	Charo D'Etchevery (University of Wisconsin Madison) Atsuko Tange (Showa Women's University) Sachiko Kawasaki (Ritsumeikan University) Michelle Kuhn Hirano (Yasuda Women's University)
31	芳村弘道	収蔵古籍五十年	2021年11月	台湾大学中国文学系「古典文学新視野: 写本、出版と収蔵」研習	
32	芳村弘道	立命館大学所蔵の漢籍貴重本	2022年3月	2021年度朝鮮渡り唐本研究の研究報告会 衣笠キャンパス	
33	萩原正樹	「随鷄集」に見える中国の詩人	2022年2月26日	白川研第二研究プロジェクト「日中韓漢籍研究」日中韓文人交流研究会	
34	萩原正樹	『清平山堂話本』『快嘴李翠蓮記』に見える撒帳詩について	2022年3月25日	白川研第二研究プロジェクト「日中韓漢籍研究」及び科研費「朝鮮渡り唐本の総合的研究」(研究代表者芳村弘道)2021年度研究成果報告会	
35	靳春雨	東アジアの漢籍をめぐる文化交流: 13~17世紀の詩集の環流を事例として	2021年7月13日	第34回AJI研究最前線セミナー(国際学会)	
36	靳春雨	日本人の漢詩存稿二種について	2022年	2021年度朝鮮渡り唐本研究の研究報告会	
37	住吉朋彦	慶應義塾図書館蔵(南北朝末)鈔本『論語疏』卷六の文献価値	2021年	東亞漢籍伝播研究ワークショップ(招待講演)(国際学会)	
38	住吉朋彦	古城坦堂旧蔵の朝鮮渡り唐本について	2022年	2021年度朝鮮渡り唐本研究の研究報告会(国際学会)	
39	富嘉吟	川文粹について	2021年	お茶の水女子大学中文学会例会	
40	富嘉吟	鄭圃『雙金』について	2022年	2021年度朝鮮渡り唐本研究の研究報告会	
41	前田亮	経営哲学に関するテキストにおける検索結果の多様性を考慮した検索システム	2021年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム, オンライン	東雲 陽美, 青山 敦
42	前田亮	役者評判記を用いた役者情報の抽出	2021年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム, オンライン	川端 恵大, 赤間 亮

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	漢字学研究会第90回	Zoomによるオンライン開催	2021年4月17日	12名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所

2	漢字学研究会第91回	Zoomによるオンライン開催	2021年5月15日	18名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
3	漢字学研究会第92回	Zoomによるオンライン開催	2021年6月17日	18名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
4	漢字学研究会第93回	Zoomによるオンライン開催	2021年7月19日	14名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
5	漢字学研究会第94回	Zoomによるオンライン開催	2021年9月17日	18名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
6	漢字学研究会第95回	Zoomによるオンライン開催	2021年10月17日	11名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
7	漢字学研究会第96回	Zoomによるオンライン開催	2021年11月19日	18名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
8	漢字学研究会第97回	場所:立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)清心館SE206(Zoomtoのハイブリッド開	2021年12月17日	17名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
9	漢字学研究会第98回	場所:立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)清心館SE205(Zoomtoのハイブリッド開催	2022年1月29日	14名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
10	漢字学研究会第99回	Zoomによるオンライン形式による開催	2022年2月19日	14名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
11	シンポジウム 漢字学の展望	場所:立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区)清心館SE205(Zoomとのハイブリッド開催	2022年3月19日	140名	立命館大学衣笠総合研究機構白川静記念文字文化研究所
12	科研シンポジウム「若手研究者竹筒 學國際會議」	Zoom・衣笠キャンパス	2021年12月18日	80名	
13	初期漢字研究会 第62回～70回	衣笠キャンパス	高島主催ではほぼ毎回。	5～6名	なし
14	东亚青年学者汉字冬季论坛	韓国釜山	2021年2月	80名	財団法人韓国HK事業団、韓国汉字研究所
15	『説文解字』を読む会	藤本築男宅	2021年度合計18回	6名	なし
16	第一回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年5月	6名	
17	第二回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年6月	6名	
18	第三回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年6月	6名	
19	第四回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年7月	6名	
20	第五回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年8月	6名	
21	第六回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年9月	6名	
22	第七回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年10月	6名	
23	第八回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年10月	6名	
24	第九回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年11月	6名	
25	第十回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年11月	6名	
26	第十一回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2021年12月	6名	
27	第十二回「近衛家の漢学」研究会	衣笠キャンパス	2022年1月	6名	
28	2021年度朝鮮渡り唐本研究の研究報告会	衣笠キャンパス	2022年3月	8名	

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	大形徹	古人の糟魄	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語	2021年4月15日

			る10	
2	大形徹	衛生の経	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る11	2021年5月15日
3	大形徹	日本人の名前の「丸」と辟邪	漢字教育サポーター育成講座修了式記念講演。漢検・オンライン講演	2021年5月16日
4	大形徹	『老子』・『荘子』と不老不死の仙人	立命館孔子学院 第164回中国理解講座 シリーズ諸子百家 其の二 於創思館・講演	2021年6月5日
5	大形徹	『孔子世家譜』と論語の一節	孔令竹・大形徹講演 オンライン・対面 第165回中国理解講座 シリーズ諸子百家 其の三『孔子世家譜』と論語の一節	2021年7月3日
6	大形徹	井の中の蛙	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る12	2021年6月15日
7	大形徹	ふしぎな巡り合わせとそれを活かす力	GF株式会社(王志敏社長)『次世代のために』、ドニエブル出版	2021年9月
8	大形徹	宇宙	RADIANT ISSUE15 特集宇宙 column #1 白川学の世界 p30.	2021年7月
9	大形徹	孔老問答	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る13	2021年7月15日
10	大形徹	兀者の申徒嘉	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る14	2021年8月15日
11	大形徹	哀駘它	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る15	2021年9月15日
12	大形徹	音	RADIANT ISSUE16 特集音 column #1 白川学の世界 p30.	2021年11月
13	大形徹	心齋	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る16	2021年10月15日
14	大形徹	中央アジアのミイラ復活観念が中国の仙人を生み出したのは？—パルメット、鹿角文様と羽人と龍—	講演録	2021年11月 愛知大学東アジアにおける異文化理解と受容の諸相 2020 オンラインの講演録
15	大形徹	坐忘	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る17	2021年11月15日
16	大形徹	機心	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る18	2021年12月15日
17	大形徹	大きな瓠	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る19	2022年1月15日
18	大形徹	家	RADIANT ISSUE17 特集家 2022 column #1 白川学の世界 p.30.	2021年2月
19	大形徹	泥亀として生きる	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る2020	2022年2月15日
20	大形徹	盆を叩いて歌う	東大阪新聞 八尾・柏原版 連載 荘子と語る21	2022年3月15日
21	大形徹	漢字学研究会活動報告	『白川研究所便り』第16号 漢字学研究会活動報告・書籍紹介(『不老不死』)	2022年3月31日
22	山田崇仁	中国古文字のデジタルテキスト化に関する諸問題	「漢字文化の展望」 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所 オンラインシンポジウム	2022年3月19日
23	山田崇仁	東洋学の名著 第三回:小倉芳彦『古代中国を読む』(岩波新書 青版 908、岩波書店、1974年)	『中国史史料研究会会報』第13号	2021年7月
24	山田崇仁	【書評】渡邊義浩『論語』孔子の言葉はいかにつくられたか』(講談社選書メチエ、講談社、2021年)	『中国史史料研究会会報』第14号	2021年9月
25	山田崇仁	【学術札記】中国古代史研究入門(その1)(山田崇仁)	『中国史史料研究会会報』第173号	2022年3月
26	高島敏夫	連続公開講座「殷周革命の実態に迫る」全5回	衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム	2021年10月16日、12月18日、 2022年1月22日、2月19日、3月5日。
27	西山尚志	「対中国古文字“一見鐘情”」(インタビュー)	『大衆日報』(中国)	2021年9月26日
28	西山尚志	「古史辨と現代中国哲学研究」(円卓会談)	『国学論衡』第9輯、社会科学文献出版社、3-30pp	2021年5月

29	笹原宏之	氏名の「伝説」に対する検証(3) 「龍」四つからなる64画の漢字 「てつ」を用いた名は実在した か(12)	戸籍：戸籍・住民基本台帳実務家の機関誌 / 全 国連合戸籍住民基本台帳事務協議会 編 (1007)	2022年2月
30	笹原宏之	同(11)	同(1006)	2022年1月
31	笹原宏之	同(10)	同(1005)	2021年12月
32	笹原宏之	同(9)	同(1004)	2021年11月
33	笹原宏之	同(8)	同(1003)	2021年10月
34	笹原宏之	同(7)	同(1002)	2021年9月
35	笹原宏之	同(6)	同(1001)	2021年8月
36	笹原宏之	同(5)	同(1000)	2021年7月
37	笹原宏之	同(4)	同(999)	2021年6月
38	笹原宏之	同(3)	同(998)	2021年5月
39	笹原宏之	同(2)	同(997)	2021年4月
40	松尾肇子	孔子学院 中国古典文化講座「唐宋時 代の恋のうたー詞に親しむー」	立命館大学図書館平井嘉一郎記念図書館カンファ レンスルーム	2022年1月15日
41	松尾肇子	村上哲見「講演 宋代における雅俗の 見」整理	『風祭』第18号, pp. 56~84	2021年12月20日
42	松尾肇子	詞籍「提要」訳注稿(十一)「竹坡詞」	『風祭』第18号, pp. 116~127	2021年12月20日
43	松尾肇子	龍榆生編選『唐宋名家詞選』訳注稿(十六)辛棄疾「鷓鴣天」「破陣子」	『風祭』第18号, pp. 232~236, 253~258	2021年12月20日
44	花田卓司	建武の新政ー短命政権の実像ー	京都労働学校(ラポール学園)2021年度春期講座	2021年6月
45	花田卓司	鎌倉期の足利氏と承久の乱	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2021年6月
46	花田卓司	鎌倉時代の足利氏ー北条義時と足利 義氏ー	近鉄文化サロン(阿倍野)	2021年7月
47	花田卓司	NHKBSプレミアム「英雄たちの選択」 への取材協力	NHKBS「英雄たちの選択(足利義満 人生最大の 危機ー覚悟!大謀反計画ー)」	2022年2月9日
48	花田卓司	足利義政ー応仁・文明の乱を招いた 将軍ー	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2022年2月
49	花田卓司	南北朝内乱を彩った人びとVー足利 直冬ー	近鉄文化サロン(阿倍野)	2022年2月
50	花田卓司	足利義尚ー権威回復を目指した青年 将軍の苦悩ー	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2022年2月
51	花田卓司	足利義植ー将軍に二度就任した史上 唯一の人物ー	朝日カルチャーセンター(中之島教室)	2022年3月
52	花田卓司	南北朝内乱を彩った人びとVー赤松 円心ー	近鉄文化サロン(阿倍野)	2022年3月
53	梁曉虹	「漢語史語料研究ー以日本仏經音義 為例」	中国河北師範大学文学院(オンライン)	2021年6月24日
54	梁曉虹	「從日僧撰『大般若經經音義』看佛經 音義在日本的發展」	中国華中科技大学、西南大学(オンライン)	2021年12月22日
55	山田明広	講演「中華圏の「お盆」の行事ー台湾 の現状とその起源を中心に」	奈良学園公開文化講座第47回	2021年7月31日
56	杉橋隆夫	後白河法皇と源頼朝	妙法院門跡、仏教文化講座	2,021年4月18日

57	杉橋隆夫	鎌倉幕府の成立と北条執権政治の展開	沼津市民文化センター	2022年3月5日
58	杉橋隆夫	(新聞報道)鎌倉幕府の成立と北条執権政治の展開、杉橋隆夫氏が講演	沼津朝日	2022年3月17日
59	川崎佐知子	西園寺文庫の「御会集」	立命館土曜講座第3353回	2022年3月5日
60	川崎佐知子	図書館企画展示「和漢の書香 立命館大学所蔵和漢書善本展」への協力およびキャプション執筆	立命館大学図書館・平井嘉一郎記念図書館1階ギャラリー(京都市北区)	2022年3月4日～2022年3月30日
61	芳村弘道	立命館大学土曜講座第3354回 和漢の書香—立命館大学所蔵の漢籍貴重本—	衣笠キャンパス(オンライン)	2022年3月

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	黄庭頌	東亞漢學研究學會	青年學者獎	白川靜漢字學に関する研究	2021年10月
2	Ryoga Nagai and Akira Maeda	International Association of Engineers	Best Student Paper Award of ICCSDE'21 (共同受賞)	Dataset Augmentation for Grammatical Error Correction Using Markov Chain	2021年7月

7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	大形徹	道教の洞天思想における聖地と巡礼の調査研究およびその東アジア思想文化史への影響(代表、専修大学土屋昌明)	基盤研究(B)	平成31年4月1日度科学研究費補助金	2022年3月	分担
2	草野友子	「中国新出土文献から見る「故事」の変遷と展開」	若手研究(B)	2016年4月	2022年3月	代表
3	草野友子	「戦国秦漢簡牘を用いた中国古代思想史の再構築」	特別研究員奨励費	2020年4月	2023年3月	代表
4	山田崇仁	情報化時代における佚文収集の手法についての研究:大蔵経からの抽出を事例として	基盤研究(C)	2018年4月	2023年3月	代表
5	落合淳思、佐藤信弥	甲骨文字や金文などの統計分析に基づく漢字の造字理論研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	代表
6	名和敏光	最新出土資料による陰陽五行思想の総合的研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	代表
7	名和敏光	5～12世紀の東アジアにおける(術数文化)の深化と変容	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
8	笹原宏之	現代日本語における外来語表記の動態把握と問題解決に向けた調査研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	代表
9	村田右富実	上代特殊仮名遣いを区別した『万葉集』の複数テキスト構築とその統計学的研究研究代表者	基盤研究(C)	2020年4月	2025年3月	代表
10	石井真美子	銀雀山漢墓竹簡の訳注および思想研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	代表
11	白須裕之	蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発	挑戦的研究(開拓)	2020年4月	2022年3月	分担
12	白須裕之	仏教論理学の比較論理学・比較哲学的研究:学際的研究のための基盤構築	基盤研究(C)	2020年4月	2022年3月	分担
13	白須裕之	古典漢文依存文法コーパスにもとづく係り受け構造の自動抽出	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
14	山本堯	春秋戦国時代青銅器の生産と流通に関する複合的研究	若手研究	2019年4月	2023年3月	代表
15	山本堯	宋元代の説文以外小学書と金石学文献の篆文字形データベース	基盤研究(C)	2019年4月	2023年3月	分担
16	熊野弘子	近世における中国医学の診断・治療理論と診察法の受容	若手研究	2018年4月	2022年3月	代表
17	草野友子	中国新出土文献から見る「故事」の変遷と展開	若手研究(B)	2016年4月	2022年3月	代表
18	花田卓司	郷・村名初出データにみる日本中世の民衆社会	基盤研究(A)	2018年4月	2022年3月	分担
19	花田卓司	古文書学における料紙と機能・様式の有機的關係について	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	分担

